

しょうがっこう ねんせいむ
小学校1～2年生向け

へいわとせんそう

へいわとせんそう
まにせむしゆんたろふん Noritake え



ぶん たにがわ しゆんたろふん
文：谷川 俊太郎
え
絵：Noritake
「へいわのボク」と
「せんそうのボク」で
は、なにが変わるのだ
ろう。比べてみると、
へいわとせんそうのちが
みえてくる。



せんそうをはしりぬけた『かば』でんしゃ

さく え ませ
作・絵：間瀬 なおかた

1936年3月に作られた電気機関車は、
流線型の顔がかばに似ていたので「かば」と呼ば
れた。特急列車として沢山のお客さん
を乗せて走ったが、やがて戦争が始まり...。乗り物で伝える
平和のメッセージ。



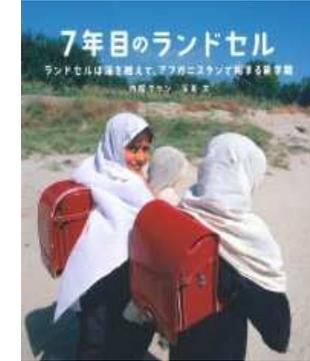
なんみんってよばないで。

さく ケイト・ミルナー 訳：小寺 敦子

安全に暮らせなくなった故郷を去り、
難民として逃れる親子の物語。「きみならどうする？」と
問いかけながら、難民問題を親しみやすく説く。

7年目のランドセル

ランドセルは海を越えて、
アフガニスタンで始まる新学期



しゃしん ぶん うちほり
写真・文：内堀

タケシ
使用済みラ
ンドセルをア
フガニスタン
の子どもたち
へ贈る「ラン
ドセルは海を

越えて」の活動を通して、今日でも
戦闘やテロが続くアフガニスタン
国内の状況や子どもたちの表情
を伝える。写真絵本。

小学校3～6年生向け

故郷の味は海をこえて
「難民」として日本に生きる



著・写真：やすだ なつき
安田 菜津紀
彼らはなぜ、国を離れな
くはならなかったのか。
日本に暮らす難民が、故郷
の料理をふるまいながら語
ってくれたことを紹介。彼
らのたどってきた道のりを
ひもとく。



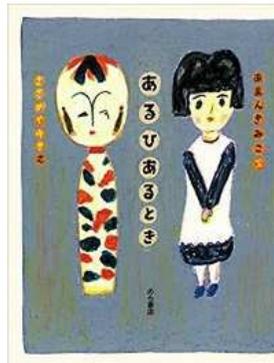
パンプキン！ 模擬原爆の夏

れいじよう みやお かずたか
作：令丈 ヒロ子 絵：宮尾 和孝

1945年、終戦の年に、原爆投下の練習のため
模擬原爆・通称パンプキン爆弾が日本各地に落
とされていた。小学5年生のヒロカは、かつて自
分の町にも「模擬原爆」が落とされたことを知り、
同じ年のいとこ・たくみと一緒に調べ始めること
に...

あるひあるとき

文：あまん きみこ 絵：ささめや ゆき
第二次世界大戦中、中国の大連に住んでいた
わたしには、大切な友だちがいた。こけしのハッ
コちゃん。でも、戦争が終わり日本に引き揚げる
ことになり...



わたしに手紙を書いて
日系アメリカ人強制収容所の
子どもたちから図書館の先生へ



文：シンシア・グ
レイディ

第二次世界大戦
中、アメリカに
暮らしていた
日系人は、全員が
強制収容所に

入れられた。図書館司書のクララは、
図書館に来ていた日系アメリカ人の
子どもたちと文通を続けて...。子
どもたちの困難な時期を、変わらぬ友
情で支え続けた図書館員の姿を描
く。